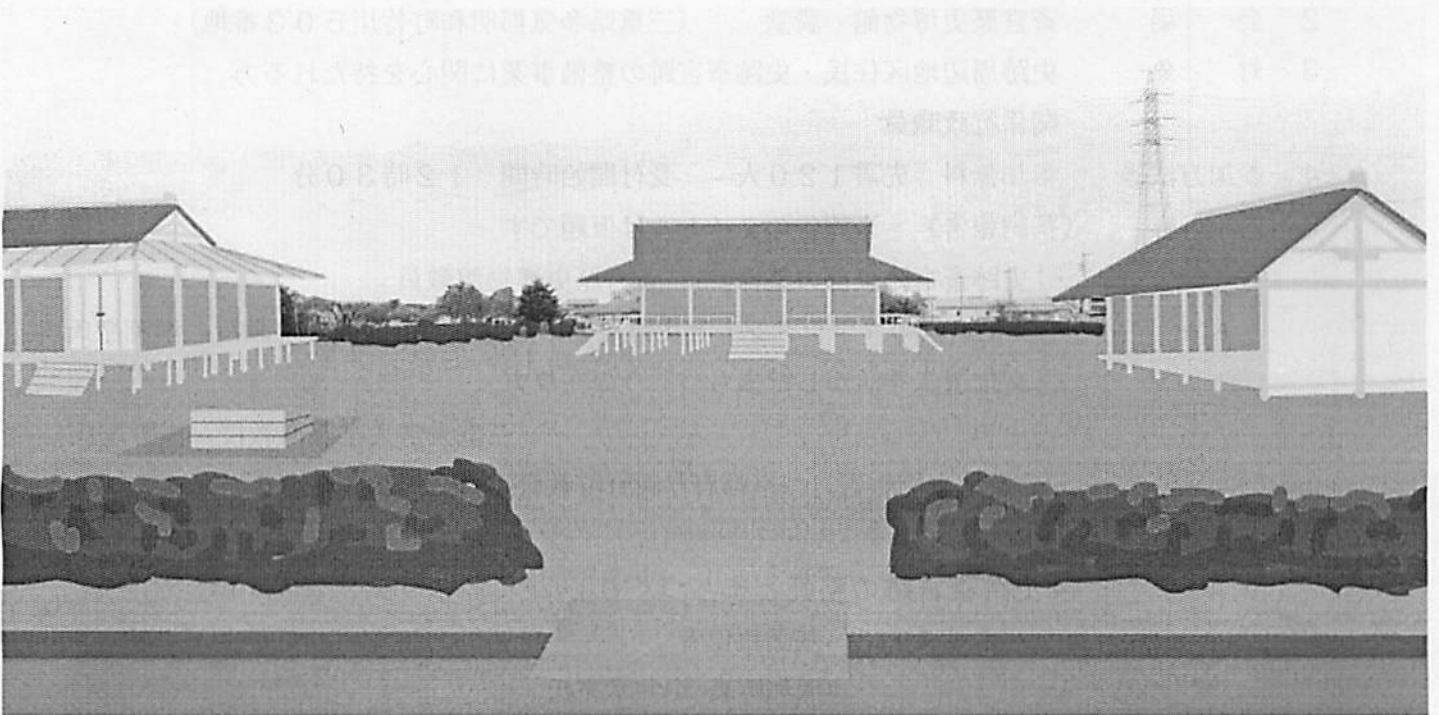


## 第2回 齋宮跡の史跡整備を語るつどい

### シンポジウム「齋宮跡の史跡整備とまちづくり」

齋宮歴史博物館が明和町の協力のもとですすめている、史跡齋宮跡東部（柳原地区）の歴史公園整備が、地域の持続的なまちづくりにつながられるよう、史跡整備がまちづくりに果たせる役割、史跡整備を成功させるための課題と展望について、専門家や地域で活躍されている方、明和町長をパネリストに招いてシンポジウムを開催します。齋宮跡と地域の未来をいっしょに考えてみませんか。みなさんのご参加をお待ちしています。



史跡整備地の想像図(基本計画段階の暫定的なイメージ)

○開催日時 平成22年10月9日(土) 13時から16時30分(予定)

○会場 齋宮歴史博物館 講堂  
三重県多気郡明和町竹川503番地

※ 詳細は裏面をご覧ください。

- 主催 齋宮歴史博物館 明和町
- 協力 史跡齋宮跡・伊勢街道まちづくり会 三重県県土整備部景観まちづくり室
- 後援 三重県教育委員会
- 問合せ先 齋宮歴史博物館 調査研究課  
〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川 503 番地  
TEL 0596-52-3800(代表)

「まちづくり」という言葉は決してハードの整備を意味するだけではありません。「まちづくり」には地域の文化や経済・教育などさまざまな側面があり、それぞれが有機的に関連もします。

三重県は史跡斎宮跡東部の整備事業の計画を、平成26年度(一部は平成27年度)の完成をめざして進めています。この史跡整備を幅広く持続的な「まちづくり」につなげるためには、広範にその事業の周知をはかるとともに、そこに住む人々の地域の文化への誇りを高め、文化を通じた地域力向上の意欲につながるものとしなければなりません。

このシンポジウムでは、これからの史跡整備の在り方、在るべき姿を地域・県民とともに考え、その意義を共有できる場をつくり、斎宮跡の史跡整備を「まちづくり」へとより確かにつなげていく契機としたいと思います。

- 1 開催日時 平成22年10月9日(土) 13時から16時30分(予定)
- 2 会場 斎宮歴史博物館 講堂 (三重県多気郡明和町竹川503番地)
- 3 対象 史跡周辺地区住民・史跡斎宮跡の整備事業に関心を持たれる方  
関係行政職員
- 4 参加方法等 参加無料 先着120人 受付開始時間 12時30分
- 5 内容 《基調報告》 ※報告のタイトルは仮題です
  - ・「史跡斎宮跡東部の整備」 斎宮歴史博物館職員
  - ・「文化遺産のマネジメントと史跡整備の意義」 京都橋大学教授 増淵徹氏
  - ・「文化遺産を活かしたまちづくりの在り方」  
三重大学大学院准教授 浅野聡氏
  - ・先進地事例報告 京都府与謝野町教育委員会 加藤晴彦氏《シンポジウム》  
「史跡斎宮跡の整備とまちづくり」  
パネリスト 基調報告者  
明和町長 中井幸充氏  
史跡斎宮跡・伊勢街道まちづくり会会長 永島喬氏

※10月9日(土)から11月14日(日)まで 特別展「賀茂斎院と伊勢斎宮」を、  
斎宮歴史博物館にて開催しています。

※当日は、博物館エントランス・ホールにて、地元の史跡斎宮跡・伊勢街道まちづくり会  
の活動もご紹介します。

また、「県民と行政が協働で進める社会資本の整備」に関するパネルも展示されます。

史跡整備事業の情報は、斎宮歴史博物館のホーム・ページでもご覧になれます。

<http://www.pref.mie.jp/SAIKU/HP/>